

やいづ市議会広報特別委員会 行政視察報告書

出張命令者：焼津市議会議長 石田江利子 様

やいづ市議会広報特別委員会
委員長 河合 一也

やいづ市議会広報特別委員会では、令和5年8月1日から2日まで、埼玉県戸田市、東京都あきる野市において視察調査を行いましたので、その概要を報告いたします。

[期 間]

令和5年8月1日（火）～2日（水）

[参 加 者]

河合 一也 委員長 深田ゆり子 副委員長 四之宮慎一 委員
村田正春 委員 原崎洋一 委員 川島要 委員

[視察場所と項目]

1. 埼玉県戸田市：議会だよりの編集について
2. 東京都あきる野市：議会だよりの編集について

埼玉県戸田市：議会だよりの編集について

1 戸田市の概要

人口：142,131人（2023年6月現在）

予算規模：590億6,000万円（令和5年度一般会計当初予算）

戸田市は荒川を境に東京都と隣接し、水と緑あふれる潤いのあるまちである。街中の豊かな緑、ボートコース、親子で遊べる広い公園や憩いの場があり、ほっと癒されるオアシスのような空間が戸田市にはある。

2 議会だよりの編集について

(1) リニューアルの経緯など

- ① 市民に議会を知ってもらうための議会だよりであること。
- ② 市民目線で仕上げる。

(2) 発行の方針について

- ① 見やすさには余白が重要である。
- ② カラフルにするのではなく、季節に合わせた色合いを出す。
- ③ 市民の写真やイラスト、題字等を有効に使う。

3 所感

- (1) 市民に親しみのある議会だよりを提供するためにリニューアルを繰り返している所は市民目線で考えているといえる。
- (2) 表紙を飾るのは市民イベントが多く採用されている。市民の目に留まる写真が使われていて、その特集が1ページに記載している。これにより市民が議会だよりを手にするきっかけになっている。
- (3) 議員と議会事務局の間で、議会だより編集における連携がよくとれており、無駄の少ない動き(編集)により、議会だよりの編集時間が短縮できている。
- (4) 配布方法の改善 自治会加入率50%以下であるため、町内会・自治会配布では全世帯に配布できない。そのため、ポスティング業者による全世帯配布に変更した。本市では同じことはできないが、思い切った変更は検討されてもよいと思われる。
- (5) 「議会だより編集方針(詳細版)」に沿ってつくられているので議員改選、人事異動、委託業者の変更があっても、紙面のクオリティ、安定性が継続できている。

4 今後の参考となる事項

- (1) 市の広報誌に合わせて横書きに統一しているところは本市でも見直す必要があるのではないか。
- (2) 「読者アンケート」を実施して、市民は議会だよりに何を求めているのかを募集することも必要ではないか。
- (3) 市民参加として読者から題字、挿し絵、写真等を募集して採用することも良いのではないか。
- (4) 限りある紙面に詰め込みすぎず、2次元コードなどを活用し、議会HPへの誘導を図る。
- (5) 「硬い」「難しい」というイメージを払拭するため、特集ページ、クイズ等で市民に読みやすい議会だよりを制作することが大切。



戸田市研修風景



戸田市議場にて

東京都あきる野市：議会だよりの編集について

1 あきる野市の概要

人口：79,664人（令和5年8月現在）

予算規模：331億650万円（令和5年度一般会計予算）

あきる野市は東京都の西部に位置し、自然と歴史が豊かな場所で、静かな暮らしを求め人々や自然愛好家にとって魅力的な地域である。多摩川が市の境界を形成し、多くの自然景観があり、市内には多くの公園や自然保護区が存在する。農業が盛んで市の周辺には果樹園や野菜畑も広がっている地域で、歴史的な名所もある地域である。

2 議会だよりの編集について

- （1）市民が興味を引く特集と表紙で親しみのある議会だよりに仕上げる。
- （2）余白を適度に確保して読みやすさ、見やすさを考慮する。
- （3）行政用語は一般市民に伝わりやすい言葉にする。
- （4）市民が知りたいこと、読んでもらえる量をめざす。

3 所感

- (1) 読んでほしい記事と内容は必ずしも市民目線と一致しない場合もあるということを理解して現在の世の情勢を考えて記事を書くことが大事。
- (2) 市民目線を考えて4年に一回は見直すことや、市民アンケートを実施して常に見直ししているところは見習いたい。
- (3) 駅に議会だより専用BOXを設置する等、市民に届ける姿勢が伝わった。

4 今後の参考となる事項

- (1) 本市の市民インタビューという特集はあきる野市の議会だよりを参考にしているがその特集がまだ十分にいきていないと感じる。
- (2) 議案審議や一般質問の部分では議案名や条例の名前、事業名などが市民に分かりやすい表現に改められている点について検討したい。
- (3) 一般質問は一人1テーマを選定して紙面を節約している。あくまでも議会への入り口として捉え2次元コードでHPへ誘っている。
- (4) 4年に1回の見直す機会も大事。議会として今後の議会だよりをどのようにリニューアルするか、という検討も必要かと思われる。
- (5) 市民に分かりやすく伝わっているかどうかの検証のために市民アンケートをとったらどうか。
- (6) 小学生でも参加できるコーナーがあると良いのではないか。「小学生が夢を語る」コーナーは大人でも読みたくなる記事と考える。



あきる野市研修風景



あきる野市議場にて